

令和 8 年度(2026年度)
豊中市市民ホール等事業計画書

令和 8 年(2026年)2 月

豊中市市民ホール等指定管理者

JCD・日本管財・大阪共立グループ

令和8年度(2026年度) 豊中市市民ホール等 事業計画書

1. 事業コンセプト

豊中市市民ホール等指定管理者 JCD・日本管財・大阪共立グループは、令和 8 年度(2026 年度)からの第 3 期指定管理期間の初年度にあたり、施設運営管理にかかるコンセプト(めざすべき姿)を「つながり、生きる。ともに、ひろがる。」と掲げます。また、下記 3 つの施設管理運営基本方針をもとに、心豊かな市民生活や活力ある地域社会の実現に寄与する拠点施設の使命を果たすべく、指定管理業務に取り組んでまいります。

施設管理運営 3 つの基本方針:

1. 地域に根差したレベルの高い文化芸術事業の提供と、地域文化の主役の育成
2. 誰もが参加できる事業運営と施設サービスの提供
3. プロパティマネジメントの視点による施設管理と地域のブランド価値向上

基幹事業である文化芸術事業の企画運営では、豊中市文化芸術推進基本計画等、市政策との整合を図りながら、これまでの運営実績を糧に、更なる文化芸術的手法の拡大をめざします。事業区分を再設計し、多様なジャンルの文化芸術事業を実施することで、豊中ならではの事業展開と独自性ある劇場ブランドの確立をめざします。

●文化芸術事業

文化芸術事業では、文化芸術の創造発信拠点として、良質で多彩なプログラムを通じ、全世代が芸術の価値を実感し、日常的に文化芸術に親しめる環境づくりを推進します。その実現に向け、育成・普及・コミュニティ・鑑賞／創造型の各事業を連動させ、芸術鑑賞や体験を入口に「学び・創造・発信」へとつながる循環型の事業構成のもと、各事業を展開します。

●育成型事業

「とよなか ARTS ワゴン」を軸に、地域の文化芸術を創り、支え、次世代へとつなぐ人材の一体的な育成に取り組めます。アーティスト育成では、研修やアウトリーチ活動、主催事業への参画等を通じて、レジデントアーティストが地域と協働しながら活動できる実践力を養います。また、市民を対象とした「アートマネジメント講座」や「レセプション育成講座」を実施し、文化芸術活動を支える人材層の裾野を広げ、地域全体の基盤強化に努めます。さらに、小学校等での音楽アウトリーチに加え、豊中市の「こども園アーティスト派遣事業」(美術プログラム)を継承・発展させ、子どもたちの感性や創造性を育むとともに、文化芸術との出会いを日常的な体験としての定着を図ります。

●普及型事業

多様な学びと体験の機会を提供し、文化芸術に親しむきっかけを創出します。音楽入門講座「ここから始まるクラシック!」では、鑑賞事業と連動したテーマにより、作品や音楽表現への理解を深め、主体的な鑑賞へとつなげます。放課後時間に実施する「とよなかダンス KIDS クラブ」では、継続的な体験を通じて、子どもたちの表現力や協調性、探究心を育むとともに、安心して過ごせる居場所づくりに寄与します。さらに、伝統芸能体験やアーティストとの交流機会を設け、世代を超えて学び続けられる文化環境を整えます。

●コミュニティ型事業

文化芸術を媒介とした社会的つながりの創出を目的に、「お茶の間オーケストラ」をはじめとする社会包摂プログラムを展開します。子どもから高齢者まで誰もが参加できるワークショップやロビーコンサートを定期的開催し、世代間交流や地域内における新たな関係性の形成を促進します。あわせて福祉機関と連携し、支援を必要とする人々も参加しやすい体制を整えることで、孤立防止と地域コミュニティの活性化を図ります。

●鑑賞／創造型事業

鑑賞事業の中核として、パートナーシップ協定を結ぶ日本センチュリー交響楽団と協働し、新たに「シンフォニックシリーズ」を展開します。豊中出身の指揮者・出口大地やチェロ奏者・辻本玲などを迎え、正統派クラシックを起点に、幅広く多彩な音楽プログラムを構成します。コンサート初心者には鑑賞の入口を、愛好家には新たな発見の機会を提供し、オーケストラ音楽への関心層の拡大と定着を図ります。

また、日本を代表するクラシックギター奏者・**荘村清志**、新・純邦楽ユニット「**WASABI**」によるコンサート、演劇やダンスなど多様な要素を取り入れた現代サーカス『**ワーカーズ!**』など、ジャンルを横断した質の高い公演を実施します。また、弦楽四重奏団**カルテット・ルーチェ**や打楽器奏者 7 人によるパフォーマンス「**moment**」など、将来性ある若手アーティストを積極的に起用し、次代を担う表現者の発信拠点としての役割を強化します。

その他、リラククスコンサートやアフタヌーン・コンサート、映画上映などを通じて、小さな子どもや鑑賞に不安を抱える方も安心して楽しめる鑑賞環境を整えます。複合型フェスティバル「**こどもアートの日 2027**」では、育成・普及型事業で生まれた成果を発表・共有し、鑑賞が学びや交流、さらには新たな表現の創造へと広がる場を創出します。

これらの取組を通じて、市民の文化芸術との出会いと関わりを広げ、地域資源を生かした豊中市ならではの文化芸術の創造と発信を進めるとともに、文化芸術を通じた交流と学びが地域に根づく持続的な文化環境の形成をめざします。

なお、市民参加型新規事業「ローズ・フェスティバル」および「参加型創造プログラム」については、2027年度以降の開催に向けた準備を進めます。

●友の会運営

近年の情報環境の変化や会員数の減少を踏まえ、友の会は制度を刷新し、鑑賞スタイルや関心に応じて選べる複数プラン制へ移行します。市民ホール等を支えるサポーターコミュニティとして友の会を位置付け、特典の優遇性よりも体験の共有やつながりを重視した運営を行います。会員限定企画や交流の場を充実させ、身近で参加しやすい友の会へと進化させることで、新たな支持層の獲得と継続的な関係づくりをめざします。

施設の運営(貸館事業)ではこれまで同様、顧客視点のサービスを提供し、施設の賑わいと高い施設稼働の維持向上に努めてまいります。また、施設管理面では、安全快適で誰もが使いやすい施設環境の維持とともに、環境への配慮や効率的な運営の実現に努めてまいります。文化芸術センターは今年で築年数 10 年目を迎え、舞台機構などのデジタル機器の入れ替え時期となっており、中ホールにおいては今年 42 年目を迎え、舞台機構の一部とホワイエ天井工事が昨年度実施されましたが、その他、定期的な保守点検や不具合への対応など、入念なチェックを行い、リスクの検証と的確な報告を継続いたします。これらの取り組みが施設利用者へのサービス提供の基盤になることを念頭に置き、さらなる市民サービスの向上をめざしてまいります。

2. 市民ホールの基幹事業に関する業務

- ① 人材育成・ボランティア組織コーディネート事業
 - ・アートマネジメント講座の実施
 - ・とよなか ARTS ワゴン 2026 シーズンの実施
 - ・レセプション育成事業、ボランティア組織運営
 - ・こどもアートプログラム(継続型ワークショップ)事業
 - ・アウトリーチ事業
 - ・コミュニティプログラム(ロビーコンサート等)
 - ・伝統芸能館普及育成事業
 - ・複合型アートフェスティバルの実施
 - ・その他普及育成事業
- ② 鑑賞事業の企画・実施
 - ・クラシックコンサートシリーズ
 - ・ポップス、ジャズ等コンサートシリーズ
 - ・最先端の複合芸術作品公演
 - ・演劇・舞踊等のパフォーミングアーツ公演
 - ・伝統芸能、邦楽公演
 - ・映画上映
 - ・展覧会事業
 - ・その他共催公演
- ③ 情報提供事業
 - ・地域文化芸術情報の収集発信
 - ・自主事業/貸館公演を含んだ施設イベントの情報発信
 - ・貸館利用につながる施設情報の提供 等
- ④ 相談事業
 - ・施設利用に関する相談・アドバイス業務の実施
 - ・ホール利用見学会の拡充、特化型の相談会の実施
 - ・自治体や他施設、業界団体等の視察・見学への対応 等
- ⑤ 「友の会」運営業務
 - ・豊中市市民ホール友の会(club CaT)の組織運営
 - ・チケット優待サービスや会員向け情報発信 等
- ⑥ 広報・宣伝事業
 - ・施設ホームページの運営
 - ・施設、事業、各種募集、貸館催事等の情報発信
 - ・情報紙、催事情報カレンダーの作成・発行(隔月発行予定)
 - ・施設パンフレット、利用案内リーフレットの作成
 - ・チラシ・ポスター等の作成
 - ・フェイスブック、X(旧ツイッター)、YouTube など SNS による広報・宣伝活動 等

3. 施設の運営(貸館事業)に関する業務

① 開館時間および受付時間:

- ・文化芸術センター/午前9時～午後10時(受付 午前9時～午後8時)
- ・ローズ文化ホール/午前9時～午後10時(受付 午前9時～午後8時)
- ・伝統芸能館/午前9時～午後9時(受付 午前9時～午後9時)
- ・市民ギャラリー/午前10時～午後7時(受付 午前10時～午後7時)

② 休館日:

- ・文化芸術センター

月曜日と年末年始(12月29日～1月3日)。

ただし、月曜日が「国民の祝日に関する法律」に規定する休日にあたる場合は開館。

- ・ローズ文化ホール

火曜日と年末年始(12月29日～1月3日)。

ただし、火曜日が「国民の祝日に関する法律」に規定する休日にあたる場合は開館。

- ・伝統芸能館

月曜日と年末年始(12月27日～1月5日)。

ただし、月曜日が「国民の祝日に関する法律」に規定する休日にあたる場合は開館。

- ・市民ギャラリー

月曜日と年末年始(12月27日から1月5日)。

4. 施設及び設備の維持管理に関する業務

① 業務内容

- ア) 舞台の管理
- イ) 収蔵庫の管理
- ウ) 特別展示室の管理
- エ) 手洗いおよび多目的室前の通路の管理
- オ) 多目的室・展示室の管理
- カ) 植栽の管理
- キ) 清掃業務
- ク) 保安警備業務
- ケ) 建物・設備の維持管理
- コ) 備品、消耗品、楽器等の管理
- サ) コミュニケーションロビー(カフェ)およびビュッフェの運営管理
- シ) 文化芸術センター等駐車場の管理

5. 令和8年度(2026年度)事業ラインアップ一覧(予定)

① 育成型事業(事業名はいずれも仮題)

事業名(仮題)	開催日(予定)	会場	共催団体等
“創る人”育成プログラム ●とよなか ARTS ワゴン アーティスト育成 ●アウトリーチ研修	通年	-	豊中市
“支える人”育成プログラム ●レセプション育成事業 ●アートマネジメント講座 ●大阪音楽大学連携事業	通年 通年 7/8(水)	-	

② 普及型事業

事業名(仮題)	開催日(予定)	会場	共催団体等
ここから始まるクラシック!(全4回)	調整中	多目的室	
こどもアートプログラム ●とよなかダンス KIDS クラブ ●とよなか邦楽 KIDS プロジェクト	調整中	ローズ 文化ホール 伝統芸能館	豊中市
アウトリーチプログラム ●ふれアート(小学校音楽アウトリーチ事業) ●おひるえ(こども園アーティスト派遣事業)	通年	-	豊中市

③ 普及型事業(伝統芸能館)

事業名(仮題)	開催日(予定)	会場	共催団体等
豊中芸人倶楽部寄席	7/18(土)	伝統芸能館	
素浄瑠璃の楽しみ方～文楽の音楽～	調整中	伝統芸能館	
日本の伝統芸能にふれよう ●文楽ワークショップ 太夫・三味線(大人) ●文楽ワークショップ 太夫・三味線(子ども) ●文楽ワークショップ 人形(大人) ●文楽ワークショップ 人形(子ども) ●狂言ワークショップ(子ども・大人) ●和妻ワークショップ(子ども) ●太神楽ワークショップ(子ども・大人)	8/22(土) 8/23(日) 8/29(土) 8/30(日) 12/6(日) 調整中 2/14(日)	伝統芸能館	豊中市
旭堂南北一人語り「ひ・ろ・し・ま」	8/8(土)	伝統芸能館	豊中市
詩吟の祭典 in 豊中	11/15(日)	伝統芸能館	
邦楽鑑賞会	12/13(日)	伝統芸能館	
伝統芸能館まつり	2/7(日)	伝統芸能館	

④ コミュニティ型事業

事業名(仮題)	開催日(予定)	会場	共催団体等
ロビーコンサート(複数回実施予定)	通年	展示室	
アフタヌーン・コンサート(3回実施予定)	通年	ローズ文化ホール	
コミュニティダンス@ローズ	通年	ローズ文化ホール	
多世代交流プログラム (ファミリーウィーク/トークイベント等)	通年	-	
社会包摂プログラム「お茶の間オーケストラ」	通年	-	豊中市

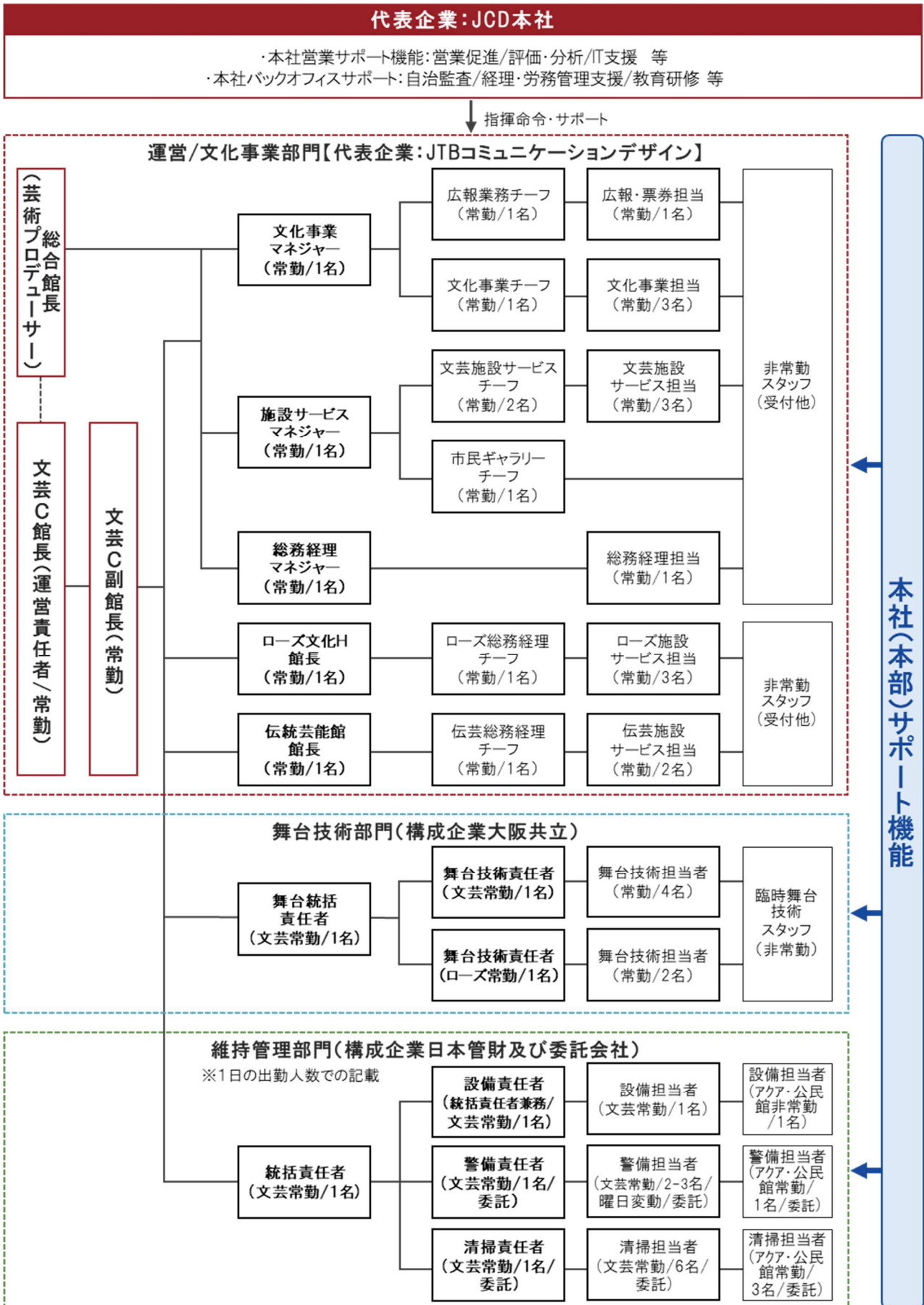
⑤ 鑑賞/創造型事業

事業名(仮題)	開催日(予定)	会場	共催団体等
●パートナーオーケストラプログラム			
とよなかシンフォニックシリーズ ●〈交差するロマン〉輝きと陰影 ●オール・ガーシュウィン-シンフォニック・ブルー ●ファミリーコンサート「きらめくピアノと音の大ぼうけん」	7/25(土) 11/14(土) 2/7(日)	大ホール	豊中市
●豊中セレクトプログラム			
とよなか ARTS ワゴン 2026 シリーズ ●とよなか ARTS ワゴンフェスティバル ●柏本佳樹 テューバ・リサイタル ●山崎恒太郎 トランペット・リサイタル	6/3(水) 2/12(金) 2/26(金)	中ホール 小ホール 小ホール	豊中市
TRANCE2027 打楽器奏者7人による創作パフォーマンス 打楽器x無言劇 moment	2/28(日)	中ホール	
にほんのうた(全2回)	9月2日(水) 1月29日(金)	小ホール	
とよキネマ(全10回)	各月1回 (6月・11月除く)	中ホール	
アート企画展	調整中	展示室	
●プレミアム・アート・プログラム			
Osaka Shion Wind Orchestra ドラゴンクエストコンサート in 豊中	4/29(水・祝)	大ホール	
荘村清志 ~武満徹へのオマージュ~ 没後30年記念	5/20(水)	小ホール	
FM COCOLO World Jazz Warehouse Presents	7/10(金)	中ホール	大阪共立
瀬戸内サーカスファクトリー『Workers ワーカーズ!』	8/15(土)	大ホール	

弦楽四重奏団 カルテット・ルーチェ	11/6(金)	中ホール	
新・純邦楽ユニット「WASABI」	11/28(土)	大ホール	
京都市交響楽団 特別演奏会	調整中	大ホール	京都市交響楽団 他
映画事業@ローズ	調整中	ローズ 文化ホール	
●ファミリーシアター／インクルーシブプログラム			
糸あやつり人形劇団みのむし『コミック・モモタロー』	5/3(日)	展示室	
リラックスコンサート『森の音楽界へようこそ』	10/3(土)	ローズ 文化ホール	豊中市
こどもアートの日 2027	3/20(土)	全館	豊中市
ギャラリー・サマーフェスタ	調整中	市民 ギャラリー	
ローズちびっこ劇場	3月6日(土)	ローズ 文化ホール	

※豊中市主催の共催事業については未掲載

6. 管理運営組織図



7. 令和8年度(2026年度)収支予算書

指定管理料(A)	537,463,389 円
----------	---------------

【(A)以外の収入】

(単位:円)

項目	金額	内容・内訳(積算根拠)
利用料金収入(文芸・ローズ・伝芸・市民ギャラリー)	145,509,000	自主事業利用分を含む、付属設備利用料含む
利用料金収入(自主事業利用分)		上項に含む
利用料金収入(伝統芸能館)		上項に含む
利用料金収入(市民ギャラリー)		上項に含む
文芸センター駐車場料金収入	13,147,000	
自主事業収入	50,200,000	チケット収入、共催負担金収入等 含む
助成金収入	4,000,000	
友の会会費収入	1,000,000	年会費収入、無料会員枠の設定
その他収入	1,200,000	販売手数料、広告収入、雑収入等
合計(B)	215,056,000	

(A)+(B)=	752,519,389	円 …(C)
----------	-------------	--------

【支出】

(単位:円)

項目	金額	内容・内訳(積算根拠)
人件費		
総合館長・館長職(4人)	30,456,000	給与、各種手当、賞与、通勤費及び社会保険料、福利厚生費、教育費等含む
マネジャー職(4人)	26,640,000	
チーフ職(6人)	40,920,000	
担当職員(12人)	69,108,000	
非常勤・パート職員(27人)	39,498,000	
本社機能サポート(営業管理)	7,920,000	各機能稼働人件費見合い
人件費計	214,542,000	
物件費(事業費)		
利用料金減免制度	5,000,000	
出演料および委託料等	55,300,000	
謝金・旅費交通・通信費等	8,600,000	
宣伝印刷費等	10,000,000	
その他経費	6,500,000	
会場費・舞台費等	19,800,000	
友の会経費	2,500,000	
物件費(事業費)計	107,700,000	人材育成・ボランティア組織コーディネート事業、鑑賞事業

(単位:円)

項目	金額	内容・内訳(積算根拠)
物件費(施設維持管理経費)		
光熱水費(文芸)	55,400,000	
光熱水費(アクア)	18,500,000	
光熱水費(ローズ)	11,700,000	
光熱水費(伝統芸能館)	3,000,000	
光熱水費(市民ギャラリー)	750,000	
ごみ処理委託料	793,240	
修繕料	20,000,000	
備品購入費	1,000,000	
文芸センター維持管理費	107,600,900	維持管理費内訳(文芸センター)参照
アクア文化ホール維持管理費	18,648,960	維持管理費内訳(アクア)参照
伝統芸能館維持管理費	6,243,600	維持管理費内訳(伝統芸能館)参照
市民ギャラリー維持管理費	1,359,600	維持管理費内訳(市民ギャラリー)参照
市民ギャラリー共益費	1,173,000	
ローズ文化ホール維持管理費(按分)	16,548,389	
コミュニケーションロビー運営費	700,000	行政財産使用料
舞台操作管理費(文芸・ローズ・伝芸)	103,575,600	舞台操作管理費・維持管理費内訳 参照
舞台消耗品・事務費(文芸・ローズ・伝芸)	6,558,400	舞台操作管理費・維持管理費内訳 参照
舞台保守点検費(文芸・アクア)	23,014,300	舞台操作管理費・維持管理費内訳 参照
舞台保守点検費(ローズ)	4,733,000	舞台操作管理費・維持管理費内訳 参照
舞台保守点検費(伝芸)	997,400	舞台操作管理費・維持管理費内訳 参照
物件費(施設維持管理経費)計	402,296,389	
物件費(事務経費)		
旅費交通費	1,320,000	人件費・事務費内訳 参照 以下同じ
会議費	132,000	
消耗品費	4,752,200	
印刷製本費	2,640,000	
通信運搬費	2,640,000	
広告宣伝費	7,600,000	
使用料および賃借料	6,982,800	
事務備品費	264,000	
保険料	1,200,000	
燃料費	66,000	
負担金	120,000	
手数料	132,000	
公租公課	132,000	
物件費(事務経費)計	27,981,000	人件費・事務費 内訳 参照
支出合計(D)	752,519,389	

(C)-(D)=	0	円
----------	---	---